

健全育成委員会活動報告書

担当：岩手県高等学校PTA連合会

『ご挨拶』

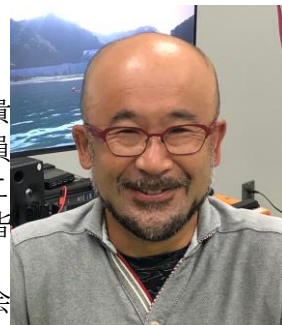
東北地区高等学校PTA連合会 健全育成委員長

(岩手県高等学校PTA連合会会長) 大 柏 良

新型コロナの劇風が吹きだ昨年11月。この2年間の中では、とても貴重な機会を得ることができた。東北各地の皆様と、対面での健全育成委員会を開催、膝突き合わせて（実際には距離をとって）お話ができた。「この時代に何ができるか」という大仰なことを提示できた訳ではないが、皆さんの体温を感じることができたのが、ただ嬉しかった。

その頃は、岩手は感染者0の日も多く、会場のホテルの一角で、懇親会も開催。そこで、ますます人の暖かさを感じることになる。席が隣になった方との会話。ともに5人の子を授かった身。そして、2011年の震災への関わり。重なることが多かった。「俺たちは子どもたちに、いい時代を作ってやれてるんすかね」と、つい涙声に。ちょっと酒が入ると、すぐ熱くなる（絡みはしないのでご安心を）。でもそんな親たちが集まって、子どもたちのために語り合う。「それが健全育成だろう？（違うか）」

与太話はさておき、子どもたちが健やかに育つため、今何をすべきか。「コロナ禍による学びの機会の損失」「ヤングケアラー」など、様々な問題もあると思います。気になることがあれば、ぜひお声かけください。みんなで共有すれば、もし知恵が出なくても、それに立ち向かう勇氣はです。よろしくお願いいたします！



<東北地区高等学校PTA連合会健全育成委員>

委員長 大 柏 良 (岩手県：盛岡第一)

副委員長 小 林 康 弘 (岩手県：宮 古) 田 澤 博 明 (青森県：田 名 部)

委 員 江 里 美穂子 (宮城県：仙 台 南) 桑 名 秀 明 (秋田県：大館鳳鳴)

本 多 康 喜 (山形県：酒 田 西) 佐 藤 千 花 (福島県：福 島 西)

< 活 動 報 告 >

1. 第1回健全育成委員会 6月 9日 (水)：秋田市 中止
2. 第2回健全育成委員会 9月 3日 (金)：盛岡市 中止
3. 第3回健全育成委員会 11月26日 (金)：ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING

【講話】「高校生の睡眠と食事について」講師：管理栄養士 大久保 伸 子 氏

主に、睡眠と朝食の重要性について学びました。栄養のバランスについては、我々にとっても大変参考になるお話を伺うことが出来ました。

【協議】(1)「登校時一声運動・マナーアップ運動」について

(2)リーフレットの作成について

(3)各県の健全育成の取り組みについて(情報交換)

(4)今年度の反省と次年度への申し送りについて

(5)その他 (ILASテストについて 等)

【情報交換会】感染対策を実施して、有意義な交流をすることが出来ました。

各県の委員長さん方から日頃の活動について伺いました

岩手県

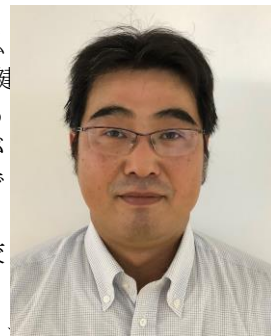
「コロナ禍での健全育成委員会の取り組み」

岩手県高P連健全育成委員長 小林 康弘
令和3年11月26日に岩手県盛岡市で開催された東北地区高P連健全育成委員会において、東北各県の健全育成委員会の取組みに触れることができました。開催された時期は、新型コロナウイルスの発生が減少している時期であり、現在のオミクロン株の急激な感染拡大前であったことから、貴重な機会であったことを痛感します。

東北各県の健全育成委員会の活動においても、それぞれの県、学校において、工夫や苦勞されて取組みを行っていました。

今後も新型コロナウイルスは、なかなか終息が見えない状況であり、健全育成委員会の活動も以前のような取組みが難しい状況です。

各県、各学校の取組みを参考にしながら、PTA会員が一丸となって、子供達の健やかな成長に資する取組みの一助になればと思います。



秋田県

『愛語』

秋田県高P連健全育成委員長 桑名 秀明
秋田県でも、例えば花火で有名な大仙市では、各校のPTAの皆様が共同で、多くの通学生が利用する大曲駅で早朝から挨拶運動をされましたが、これは学校の枠を超えた素晴らしい取り組みであると思います。

私も、息子が通う大館鳳鳴高校の門頭に立って、PTAの役員の皆さんと生徒たちに声を掛けましたが、元気な声の子、はにかみながらの子、様々でしたが、全ての子が私たちの「おはよう」の声に応えてくれました。当たり前と言え、その通りなのですが、朝から多くの子たちと挨拶を交わしたことによって、私たちの方が清々しい気持ちになりました。

「愛語」という言葉があります。愛語とは好ましい言葉という意味ですが、対立している人とも、苦手な人とも、時に優しい言葉や癒しの言葉によって、和解できたり、誤解が解けたりします。

挨拶によって心が和み、笑顔が生じる。日常の何気ない挨拶こそが、愛語の最たるものであり、健全育成の基と確信致します。ぜひ挨拶運動を今後も続けて頂きたいものだと思います。



青森県

『困難な中でも・・・』

青森県高P連健全育成委員長 田澤 博明
今年度はコロナ禍により様々な活動が制約を受け停滞する中、県P・単Pにおいても難しい判断、舵取りが求められる1年でした。そんな中でも出来る事をやり切ろうという事で「登校時一声運動・マナーアップ運動」を展開しました。参加校は約半数に止まりましたが各校で様々な工夫がなされました。

- 大きな声でのあいさつは控え、黙礼やあいさつボードを掲げた
- 制限のある中で生徒、生徒会、教職員で連携できたので絆が深まった。
- もっとと広げた活動をしたかったが継続性を大切に思い、生徒のみの委員会活動とした・・・等々。

現段階でコロナとのつき合いに終わりが見えません。しかし、私達PTAは子供達を見守り、教職員としっかりとタグを組み、共に未来へ向け成長し続けるという理念を持ち続けなければなりません。これからも創意工夫を凝らし、PTAが発展していくことを大いに期待してい



宮
城
県

『コロナ禍からコロナ後へ』

宮城県高P連健全育成委員長 江 里 美穂子

今年、仙台南高等学校は創立45周年を迎えました。12月3日に記念式典が開催されましたが、来賓も参加の行事となり、私達本部役員も久しぶりに体育館へと足を踏み入れることが出来ました。

世界中がコロナ・パンデミックに見舞われ、丸2年。少しずつ学校活動がコロナ禍でも工夫しながら行われるようになり、PTA活動も従来のものとは形式が変わったものもありますが動き始めた印象を受けた1年でした。

行事でのオンライン配信の導入等は、コロナ後のPTA活動にも活用できるのではないかと考えます。コロナの終息までには新たな変異株の出現でまだ時間がかかりそうですが、新しいPTA活動の在り方を考えていくよい機会になればと思っております。



山
形
県

「学校・保護者・地域の架け橋」

山形県高P連健全育成委員会委員長 本 多 康 喜

昨年度は、新型コロナウイルスの影響により日常生活がガラッと変化してしまい、当たり前に行えていた行事が中止となり、戸惑いや不安な1年を過ごしてきました。

当時はしっくり来なかった「Withコロナ」という言葉が、今や生活の中に定着しつつある中、変異ウィルスが発生し、未だ出口の見えない日々が続いています。この歴史に残る困難をみんなで知恵を出し合いながら乗り切っていきたいと考えています。

今年度も、この状況とうまく付き合いながら、学校、保護者、地域の架け橋となるよう役員一丸となり出来る事から一つずつPTA活動をして参ります。



福
島
県

「マナー向上のために出来ること」

福島県高P連健全育成委員長 佐藤 千花

福島県に於いて、令和4年4月1日自転車利用に関する安全安心条例が施行されます。それに伴い、自転車利用者は自転車損害賠償責任保険等に参加義務化されます。

毎年、全国高P連や福島県高P連の補償制度をお知らせしておりますが、来春はよりアピールをさせていただき、同時に登校時一声運動を継続し、自転車運転のマナー向上に繋げていければと考えております。

それぞれの学校に於いて工夫をし、学校・保護者・地域の皆様に見守られているのだということを生徒たちが知り、安心して学生生活を送れる場所にしていきたいと思っております。



令和３年度「登校時一声運動・マナーアップ運動」取組状況（アンケート結果より）

1 実施校

	青森	岩手	秋田	宮城	山形	福島
実施報告校数	44	50	43	60	29	69
対象学校数	82	65	63	82	50	80
実施報告率（％）	53.7	76.9	68.3	73.2	58.0	86.3
令和元年度実施報告率	74.1	77.5	95.5	80.2	97.7	89.8

2 実施月（１１月以降は実施予定校数）

	青森	岩手	秋田	宮城	山形	福島
4月	3	2	4	5	3	7
5月	14	7	10	6	3	5
6月	10	15	10	13	16	31
7月	9	8	9	7	2	12
8月	6	4	4	7	1	6
9月	7	9	16	11	4	15
10月	15	31	23	39	23	42
11月	8	8	11	21	0	16
12月	3	0	3	5	0	6
1月	1	1	0	4	1	2
2月	1	0	1	3	0	2
3月	0	0	0	1	0	0
通年	2	0	3	3	1	13

3 実施日数

	青森	岩手	秋田	宮城	山形	福島
1～3日	23	36	19	41	13	44
4～6日	14	12	13	13	10	18
7～9日	3	2	2	2	2	1
10～12日	1	0	2	5	2	2
通年・その他	3	1	7	4	2	15

4 主な実施場所

	青森	岩手	秋田	宮城	山形	福島
校門・昇降口周辺	42	45	37	58	23	60
通学路・学校周辺	7	20	12	9	15	21
駅・地域等	5	5	7	5	8	17
その他	4	0	1	1	0	0

5 実施時間帯

	青森	岩手	秋田	宮城	山形	福島
始業前後のみ	41	47	36	58	26	58
下校時のみ	0	1	1	4	0	1
始業前後・下校時ともに	3	0	5	1	2	9
その他	2	1	1	0	1	0

6 参加人数

	青森	岩手	秋田	宮城	山形	福島
1日あたりの人数	7.5	6.9	4.2	6.4	7.6	6.6
（令和元年度）	8.8	7.1	4.5	6.6	7.2	7.0

7 その他の協力者の参加（複数回答可）

	青森	岩手	秋田	宮城	山形	福島
生徒・生徒会・教職員	22	33	20	33	22	26
教職員のみ	17	12	14	24	6	41
地域・近隣高校・関係機関	1	2	5	9	3	5

その他	1	0	4	0	0	<u>0</u>
単独実施（P T Aのみ）	7	7	0	7	1	<u>10</u>